

第2期基本構想実施計画 骨子案について

1. 基本構想実施計画について

基本構想の計画年度(12年間)を3期に分けて策定。第2期基本構想実施計画の計画年度は2023年度から2026年度の4年間。

2. 骨子案のポイント

○前文・イメージ図

第1期実施計画にはなかった「前文」を入れ、情勢の変化や、次期計画の策定および推進にあたっての思い、全体に通じる視点などを記載。

さらに計画全体のイメージをまとめている。

○目標の設定

第1期実施計画では、政策ごとに複数の数値目標を設定しており、全部で91個の政策目標があるが、第2期実施計画ではこれを整理。

総合目標(目指す姿)として「感じている幸せの度合い」「滋賀を誇りに思う人の割合」「滋賀に住み続けたい人の割合」の向上という3つを設定し、この目標に影響すると考えている指標や、各政策の柱における主な事業を別に定めて、進行管理していく。

○施策の展開

健康しがを目指すための政策を14の柱にまとめ、その柱ごとに目指す方向性と施策の展開を記載。

また、全体に通じる視点「ひとづくり」「子ども・子ども・子ども」、あらゆる施策に関わる「CO₂ネットゼロ社会の実現」「DX推進」の4つを、どの施策を展開するうえでも意識するものとして記載。

3. スケジュール(予定)

骨子案:10月常任委員会

素案:12月常任委員会

計画案:3月常任委員会